| 科目コード | N22315 | 科目名 | 地域看護学概論 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 履修区分 | 必修 | 開講期 | 2年前期 | 授業回数 | 8回 | 単位数 | 1単位 |
| 担当者 | 中谷　久恵 | | | | | | |
| 授業の概要 | 地域で暮らす人々の生活を理解し、地域看護が必要とされる社会的環境の変化と健康課題を把握し、暮らしに基づく生活の場で行われる看護活動の必要性と基礎的概念を学ぶ。 | | | | | | |

| DPとの関連 | | |
|---|---|---|
| | ①平和を希求する姿勢を身につける | － |
| | ②豊かな教養を身につける | － |
| | ③高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける | ○ |
| | ④看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける | ◎ |
| | ⑤地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける | ◎ |
| | ⑥自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける | ◎ |
| | ⑦多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける | ◎ |
| | ⑧社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける | ◎ |
| | ⑨異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける | ◎ |
| | ※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力 | |

| 到達目標 | 地域看護活動における対象の捉え方を理解し、地域看護活動を担う専門職の機能・役割について理解する |
|---|---|
| 履修上の注意事項 | 講義中に実施するレポートも評価対象になります。<br>出席は５分の４以上（２日休むと単位修得不可となります）。 |

授業計画

| 回数 | 講義内容【担当教員】 | 事前・事後学修 |
|---|---|---|
| 1 | 暮らしと健康を支える地域看護【中谷久恵　他】 | 予習・復習：序章、１章、２章 |
| 2 | 暮らしの基盤となる健康実態と地域の理解【中谷久恵　他】 | 予習・復習：２章、４章ABC |
| 3 | 地域看護の対象（１）個人、家族【中谷久恵　他】 | 予習・復習：３章ABC、４章DE |
| 4 | 地域看護の対象（２）地域／地域看護の実践と多職種との連携【中谷久恵　他】 | 予習・復習：4章FG、5章ABC |
| 5 | 地域看護の実践と制度の活用（1）介護保険制度【中谷久恵　他】 | 予習・復習：６章A |
| 6 | 中間評価／地域看護の実践と制度の活用（2）医療保険制度【中谷久恵　他】 | 予習・復習：序章～３章／６章A |
| 7 | 地域看護の実践と制度の活用（3）訪問看護制度【中谷久恵　他】 | 予習・復習：６章C |
| 8 | 地域看護活動に関連する法制度【中谷久恵　他】 | 予習・復習：６章D～H |

| 成績評価方法 | 中間評価（50%）<br>定期試験（50%）<br>授業の進行により評価の配分が変更となる場合があります。 |
|---|---|

| | 書名・著者（出版社） | ISBNコード |
|---|---|---|
| 教科書 | 系統看護学講座・地域・在宅看護の基盤，在宅看護論１ | 978－4－260－04689－3 |
| | 国民衛生の動向2024/2025，厚生の指標増刊（厚生労働統計協会） | |
| | | |
| 参考書 | 公衆衛生看護学概論 | 978-260-03560-6 |
| | | |
| | | |

| 教員からのメッセージ | （社会）環境の変化に伴い人々の健康課題は変化します。そして、人々の健康ニーズの変化に伴い保健・医療は変化します。社会の動きと健康問題に関心を持って下さい。 |
|---|---|
| 教員との連絡方法 | 対面、メールで連絡をお願いします |
| 実務経験のある教員 | 地域での看護の実務経験がある教員が実践や経験をもとに今日の地域看護の概要について講義を行います。 |